

平成 21 年 3 月 23 日

各 位

会 社 名	セガサミーホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治 (コード番号 6460 東証第一部)
問 合 せ 先	執 行 役 員 秋 庭 孝 俊 (電話番号 03-6215-9955)

当社子会社（タイヨーエレクトリック株式会社）の
平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるタイヨーエレクトリック株式会社は、平成 21 年 2 月 3 日付で発表いたしました平成 21 年 3 月期の通期業績予想および平成 20 年 5 月 13 日付で発表いたしました期末配当予想について、別添のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社連結業績は現在集計中ではございますが、遊技機事業においてタイヨーエレクトリック株式会社が通期業績予想を修正したものの、サミー株式会社において収益性の高いサミーブランド製品の販売が堅調に推移しており、またアミューズメント機器事業、アミューズメント施設事業、コンシューマ事業もほぼ見込み通り推移していることから、平成 21 年 2 月 10 日付で発表いたしました当社の平成 21 年 3 月期通期連結業績予想の修正はございません。

※ 本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

《添付資料：タイヨーエレクトリック開示資料

「平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」》

以上



平成21年3月23日

各位

会社名 タイヨーエレクトリック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 英理子
 (JASDAQ・コード 6429)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員管理本部長 渡邊 暢彦
 電話 052-502-9222

平成21年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年3月23日開催の取締役会において、平成21年2月3日に公表いたしました平成21年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

また、本業績予想の修正を受けまして、当期の1株当たり配当予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

- (1) 平成21年3月期通期業績予想数値の修正
 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	18,000	1,700	1,700	1,500	65円95銭
今回修正予想(B)	14,000	480	500	410	18円03銭
増減額(B-A)	△4,000	△1,220	△1,200	△1,090	—
増減率	△22.2%	△71.8%	△70.1%	△72.7%	—
(ご参考) (平成20年3月期)実績	25,334	1,657	1,636	1,423	77円18銭

(2) 修正の理由

遊技機業界を取り巻く経営環境は依然厳しく、遊技機ホールの遊技機に対する評価は厳しさを増しており、年度末の遊技機メーカー間の競争はさらに激化しております。

パチスロ機におきましては、第4四半期に販売を予定しておりました1シリーズが、適合の遅れから今期の販売を見送ることとなり、通期のパチスロ機販売予想台数は6千台(前回修正販売予想台数比5千台の減少)の見込みとなっております。

パチンコ機におきましては、現状の市場環境を勘案して販売戦略を見直し、当期に販売予定であった主力タイトル「CR機動新撰組 萌えよ剣 疾風怒濤編」(以下「CR萌えよ剣2」)の販売を来期に持ち越すこととしたため、第4四半期については「CR八代亜紀 心の故郷 帰りませんか」(以下「CR八代亜紀2」)を中心に販売活動を行って参りました。しかしながら、業界全体で年度末に有力商品が集中投入されたことなどから販売競争が激化し、「C

R八代亜紀2」の当期内の販売数量は予想を下回る状況で推移しております。このため、通期のパチンコ機販売予想台数は4万4千台(前回修正販売予想台数比9千台の減少)の見込みとなっております。

なお、今後とも「CR八代亜紀2」を継続販売するとともに、来期に販売を持ち越すこととした「CR萌えよ剣2」につきましては、既に営業活動を開始し、大変高い評価を頂いており、順調な販売活動を展開いたしております。

以上の結果、パチンコ機およびパチスロ機の合計販売台数が前回予想に比べ1万4千台減少したことにより、当期の売上高につきましては前回予想を40億円下回る140億円と見込んでおります。

利益面につきましては、前回の予想修正時において、売上高予想の減少にも関わらず諸施策の実施により各利益面では当初予想を維持する見込みであるといったしており、諸施策の実行に努めて参りました。しかしながら、今回の更なる売上高予想の減少による各利益面への影響額は、更なる経費圧縮等の実施をもってしてもカバーしきれず、各利益面での当初予想値を維持することは困難な状況であります。このため、当期の各利益の予想を、営業利益4億80百万円(前回予想比12億20百万円の減少)、経常利益5億円(前回予想比12億円の減少)、当期純利益4億10百万円(前回予想比10億90百万円の減少)に修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
(基準日)	第2四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (平成20年5月13日公表)	円 銭 0.00	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	0.00	5.00	5.00
当 期 実 績	0.00	—	—
(ご参考) (平成20年3月期)実績	0.00	5.00	5.00

(2) 配当修正の理由

当社は、企業価値を高めながら、株主の皆さまに利益還元を図ることを経営の重要課題と認識し、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

しかしながら、上述のとおり通期業績予想を下方修正せざるを得ないことから、平成21年3月期の期末配当予想は、前回予想を修正し、前年と同額の5円とさせていただきます。

業績予想につきましては、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢・市場の動向の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

以 上